

おおすみこくぶんじあとつけたりみやたが おかかわらかまあと
大隅国分寺跡附宮田ヶ岡瓦窯跡 追加

【所在地】始良市始良町船津161番地 外

【種別】国指定史跡

【指定年月日】平成16年9月30日



宮田ヶ岡瓦窯跡

宮田ヶ岡瓦窯跡は、鹿児島湾奥西側の標高約15mの微高地斜面に構築された遺跡で、同じ鹿児島湾奥東側にある大隅国分寺跡とは直線で約15kmの距離にある。平成8(1996)年と翌9(1997)年に発掘調査が行われ、3基の地下式登窯跡が検出された。出土品の状況から、いずれも瓦専用の窯と考えられている。

発掘調査では軒丸瓦や軒平瓦等の瓦が約300点出土した。これらの瓦の中には、大隅国分寺跡のものとされる瓦と同範(同じ型枠)のものと考えられるものも出土しており、国分寺へ瓦を供給した窯跡ということで、宮田ヶ岡瓦窯跡を大隅国分寺に追加指定するとともに、併せて名称変更をすることとなった。

周辺の日向、豊後、肥後の国分寺瓦との関係や大宰府との関係を探る上で貴重な遺跡である。